

視聴覚教育

NO. 429

発行日

29. 1. 31

発行

岡崎市 A V L

編集

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる!?

『Mbps』

データ伝送速度の単位の一つ。
1Mbps は1秒間に1Mb (メガバイト)の容量を伝送できることを表す。
岡崎市の教育ネットワークでは、
動画の視聴やデジタル教材の使用など、
授業での快適な利用を目指し、
理論値で100Mbpsから1Gbpsのものが
整備されている。

視聴覚教育あれこれ!!

●校務支援システム「OK-TASK」

OKAZAKI Teaching Assistant System of KOUMU

岡崎市では、校務の効率化の一環として、昨年度末に「OK-SAINE」が導入され、内部メールや掲示板など、各種機能が利用されている。さらに今年度中に、出席簿や指導要録など、諸帳簿の作成に関わる校務の効率化を目指して、校務支援システム「OK-TASK」が導入される。



平成二十八年二学期の終業式は、全校の児童・生徒が整列して、平成二十九年の期待を感じたことと思う。その日の朝刊に、中央教育審議会による次期学習指導要領の答申の記事が大きく取り上げられていた。

学習情報部長 小田 哲也

文部科学省は二〇二〇年に向け、教室の無線LAN化、児童・生徒用のデジタル教科書の整備、校務のICT化、教員の研修などの準備を進めている。岡崎市教育委員会においては、ネットワーク速度を向上した上で、教職員用グループウェアOK-SAINEを整備した。さらに校務支援システムOK-TASKの導入を進め、指導要録や通知表の作成などの校務の効率化を後押ししている。また、教職員PC更新導入では、記憶媒体にSSDを採用し、起動が格段に速くなった。普通教室のディスプレイでデジタル教科書やNHKのコンテンツを使う学習、体育館のスクリーンにプロジェクターで映像を投影する様子は、よく見かける光景となった。

電車に乗ると、ほとんどの乗客がスマホを触っている。優先席で音楽を聞く人、タブレットをフリックする幼児。その横でクルクルと指を回すお母さん。歩きスマホをする若者やビジネスマンは、日常的に見かける。

デジタル教科書や校務支援ソフトはとてよくできていて利用価値は高い。業務の効率化や便利さを追求するのは大事なことだ。しかし課題がある。教員はただ使うだけではない。次期学習指導要領の答申にあるように「何ができるか」「どう使うか」を考えなくてはならない。社会においては、技術の進化にそれを使う人の規範意識をはじめとした心の成長がついていっていないと感じる。

文部科学省が平成二十二年に出した「教育の情報化の手引き」の情報教育の目標には、「情報化社会に参画する態度の育成」がある。「情報化社会に参画する態度の育成」がある。情報の扱い方の重要性、モラルやルールを遵守する態度を育てる必要性を通知している。

遅れていることでも、今始めればじきに追いつく。文明が進化し情報技術が手軽で便利になっても、現実を見つめ自分を見失わず、それに流されないための知識と判断、そして心を育てることが、大切な教育である。

従来のように帳簿ごとにデータを入力する労力を省くことができる。よって、減らすこともできる。また、個人情報電子データとしてセンターサーバで一元管理できるため、情報漏えいのリスクも低減できる。

主な機能としては、保健管理・出席簿作成・名簿作成・通知表作成・指導要録作成などが用意されている。今年度はまず指導要録から利用が開始され、来年度以降、通知表など、他の機能についても順次利用が開始される。

新システムの導入時には、機能や操作方法など、新たに覚えることもあるが、マスターをすれば必ず校務の効率化につながる。各校においては、学習情報主任が各利用者の操作習得をサポートし、校務の効率化を支えることが期待される。



II 実践報告 II

パワーポイントを活用した図形の学習

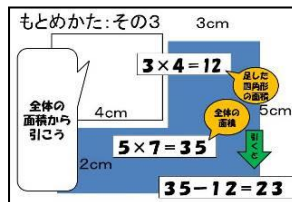
矢作東小学校 伊豫田 崇晃

四年生の算数科では、長方形や正方形の面積を求める公式と、それらを活用した様々な図形の面積の求め方を学習する。特につまずきが多いL字型の図形の面積の求め方を学習する際に、パワーポイントで自作した教材を用いて視覚的に求め方を提示する実践に取り組んだ。

まず、PC室で自作教材のL字型の図形を提示した。このままでは既習の公式を適用することができず、子供たちはどのように面積を求めるのか、解法を見つけられずにいた。そこで、パワーポイントで作成した教材を使い、画面上で図形を動かし、どんな図形でも公式を活用できる形に変形できることを、アニメーションで提示した。これにより、子供たちに解法への見通しをもたせることができた。授業後の感想は「図形が動いたから分かりやすかった」というものが多かった。

終末では、練習問題に取り組み、面積の求め方としてどの解法を利用するとよいのかを考え、子供たちは、アニメーションで提示した、分けて足す、後から引くという解法を使い、自力で問題を解くことができた。

子供たちに図形を視覚的に捉えさせるためには、アニメーションの活用が有効だと実感した。



II レッツ・トライ！ ICT II

今回使用したサイト

ESL-Kids.com ~ Fun English Games.com



英語の授業では、楽しく学ぶことができる雰囲気作りが大切だ。それには、フラッシュカードやワークシートがあると役に立つ。そこで、今回は英語の教材作りができる海外のサイトを紹介する。一つ目は、ESL-Kids.com というサイトだ。これは、英語を第二外国語として学ぶ子供向けのサイトで、簡単にフラッシュカードやワークシートを作成できる。カテゴリを選べ、それに関連する簡単な単語がランダムで選ばれ、フラッシュカードやワークシートが自動的に作成される。絵だけのもの、絵と文字が混ざったものなど、様々なものが作成できる。さらに、ランダムで選ばれた単語は、任意で変更することもできる。



次に紹介するのは、Fun English Games.com というサイトだ。こちらはワークシートも豊富だが、クイズやゲームを紹介するコーナーもある。ルール説明が英語で書かれているため、教員の補助は必要だが、中学生なら自力で挑戦できるものもあるので、楽しみながら英語力を磨くことができる。ちなみに、両サイトとも英語表記のみなので、教材研究を通して教員自身の英語力も磨くことができる。一度のぞいてみる価値のあるサイトだ。

(甲山中学校 学習情報主任 杉本 抄智代)

ライブラリーだよ

岡崎市視聴覚ライブラリーには、DVDから十六ミリフィルムまで、多くの教材が所蔵されています。これらは、視聴覚ライブラリーのホームページから直接予約ができます。インターネット予約には、各学校に配付されているIDとパスワードが必要です。

ホームページからの予約方法は、『視聴覚教材・機器利用の手引き』に掲載されているので、内容を御確認ください。貸出期間は、貸出日を含めて七日以内で、三か月前から予約ができます。

巡回郵便による学校への配送を希望する場合は、「利用目的」の欄に、利用目的に続けて「巡回郵便希望」と入力していたければ結構です。利用期間内であれば、巡回郵便で返却することもできます。

また、教材の貸出については、毎年二月末から三月中旬にかけて、学校関係だけでなく、社教関係も行事が多いことから、予約が混みます。特にプロジェクトやデュープリケーターについては、例年卒業式の時期に予約が集中します。時期をずらして利用されるか、早めの予約をお願いいたします。

